



城の山

当たり前前の幸せは当たり前ではない

1月9日、新しい年を迎え、それぞれ、目標の実現に燃えている子供たちと3学期の始業式を迎えることができました。冒頭、能登半島沖地震で被災された方々に対する黙祷を捧げたあと、「被災された方々のことを思うと、こうして皆さんと一緒に勉強や運動ができることは、実は当たり前ではないということを強く感じます。」と校長講話を切り出しました。

実はその直前に、代表児童の6年生のあいさつがありましたが、私と全く同じ思いを発表したので。打合せもしていないのに、以心伝心でした。素晴らしく心が育っていると感心しました。

子供は、世の中をよく見えています。その観察の鋭さは1年生も6年生も変わらないと私は考えています。今、どんな思いを人に伝えるべきか、6年生の言葉から、「ぼくは、自分が幸せであるだけでは喜べない、何とか困っている人々を助けたい。」という思いが伝わってきました。後日、本人にどんな気持ちで発表したのか尋ねてみると真剣な眼差しで、「自分も何かできることならボランティアをして助けたい。」と語ってくれました。

私は、今こそ、子供たちに「自分たちができることは何か」を考えさせ、実践させる絶好の機会だと思っています。川辺小学校は青少年赤十字加盟校でもあります。「気付き、考え、実行する」という青少年赤十字の目標を踏まえ、児童会でも被災された方々に寄り添った取組を行なうようにしたいと考えております。

大谷選手が届けてくれたもの～夢～

1月19日(金)、全校児童に大谷翔平選手から寄贈されたグローブを紹介しました。子供たちの反応も上々で、早速、一日ずつ使用できる学級を決めてキャッチボールをして遊んでいます。

添付されていたメッセージには、「このグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。」と大谷選手の願いが書かれていました。

グローブを使って野球の楽しさを知る子供たちもたくさんいることでしょう。メジャーリーガーに憧れ、目指す子供もいることでしょう。私は、この機会に少しでも大谷選手の考え方や生き方に興味をもてるよう校長室前に大谷選手関係の図書も紹介しています。



<校長室で対話をする6年生>



<校長室前の大谷コーナー>

抱っこ～双方向に伝わる愛～

突然ですが、お子さんを抱っこされていますか。お子さんが高学年になってからは、なかなかないかもしれませんね。しかし、抱っこを求める行動は、誰にでも生後しばらくしてすぐに始まります。親も子供が求めなくても幾度となく抱っこしたという経験があるのではと思います。最近、お子さんを抱っこしたのはいつでしょうか。では、手をつなぐことはありますか。だっこや手をつなぐなどの親とのスキンシップは、子供に安心感を与え、自分が大切にされていることを実感できるために不可欠なものです。つないだ手から伝わるのは温もりだけでなく、親の愛であり、子の愛が双方向で伝わり、生涯忘れられない記憶として残るものです。お金をかけずにすぐにできる親から子への、子から親への愛情表現です。

今日は久しぶりに大きくなった我が子を「だっこ」してみませんか。



春の七草～知っていますか。身近な自然

「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ」語呂がいいので、子供の頃、親や先生から教えてもらい覚えておられる方も多いのではと思います。これらの春の七草を使って、1月7日には、お正月で疲れた胃を休め、健康を願って、「七草がゆ」を食べられた御家庭もあったことでしょう。

実は、春の七草の中には、学校内にもよく見られるものがあります。お子さんと図鑑を見ながら春の七草を探されてみてはいかがでしょうか。



<保健室横に咲く「なずな」>

安心・安全メールについて

安心・安全メールは、地域企業の協賛を得て運営されています。

本校は「株式会社 有菌」様の御協力いただいております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

2月・3月初旬の行事予定

- 2日(金) なわとび発表会・学校保健委員会・家庭教育学級
- 9日(金) 新一年生入学説明会
- 10日(土) 土曜授業日
- 11日(日) 県P委嘱公開(本校発表)
- 14日(水) 5年集団宿泊学習(～15日)
- 16日(金) 5年休養措置日
- 22日(木) 学級PTA
- 3月1日(金) 6年生を送る会・お別れ遠足

